

認知症サポーター7,382人



広がれ！サポーターの輪

認知症サポーターは、認知症に対して正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。警察署や消防署、介護事業所だけでなく、郵便局、銀行、スーパーマーケットなど地域に根ざした職域の皆さんもサポーターです。橋本市内の小・中・高校生も、毎年、授業の一環で学んでいます。



認知症のわたしからあなたへ〜橋本市版〜

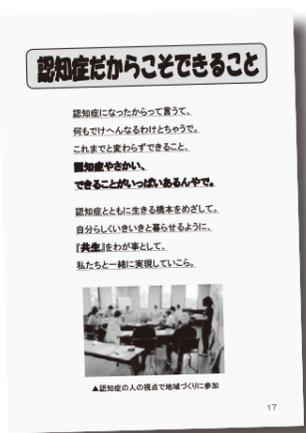


認知症の人が大事にしていることや日々の生活などを掲載した冊子を、認知症の人やその家族の皆さん（みかんの会）と地域包括支援センターが共同で作成しました。冊子は、9月初旬から地域包括支援センターや医療機関、薬局などで配布します。ホームページでも閲覧していただけます。下記ののように、認知症の皆さんの経験や、認知症になっても楽しく生活できるポイントなどを掲載しています。ぜひご利用ください。

おかしいと感じたら
1日も早い診断を

「最近、もの忘れが増えてきたので思い切って受診したら認知症と診断されました。『まさか自分が』と思ったけど、まだまだ体は元気だし、もの忘れはあるけど、少しの工夫で何とかなる」

認知症と診断された人が気持ちを切り替えて奮起している様子を紹介しています。早期発見、早期対応が一番大切です。



▶認知症のわたしからあなたへ
〜橋本市版〜の内容

こんな時はどうするの？
対応のヒント

「同じことを何度も言う」場合は、本人は何度も同じことを聞いているつもりはないので、否定せずにひとまず受け入れて話を聞くことが望ましいです。

「得意なことができなくなった」場合は、段取りを組む、計画を立てることに支障が出てくるので、同時に2つの作業が難しくければ、1つずつ一緒に声掛けをしながらするようにしましょう。

わたしたちからのメッセージ

- 不便だけど不幸ではない。
 - 忘れても大丈夫。まわりにわかってくれる人がいっぱいいる。
 - 1歩がダメなら、半歩でも前へ。
- 本人や家族が感じ、生活している工夫などを紹介しています。

認知症サポーターになろう

認知症サポーター養成講座の参加団体を募集しています。

- **対象** 市内の企業、学校、各種団体（自治会、ボランティア団体など）※個人でも可
- **時間** 60分〜90分
- **内容** 認知症の基礎知識や、認知症の人への接し方
- **その他** 受講後に認知症サポーターの証であるオレンジリングをお渡しします。
- **申し込み・問い合わせ** 地域包括支援センター



みかんの会

認知症の人や認知症予備群、介護している人、関心がある人など誰でも参加できます。仲間との出会いや交流により、元気をもらえます。ぜひ参加してみてください。

- **日程** 毎月第1木曜日
- **時間** 午後1時30分〜3時30分
- **場所** 保健福祉センター
- **問い合わせ** 地域包括支援センター
☎32-11957



住み慣れた地域で、自分らしく暮らしていくために

認知症になっても、自分だけで悩まず、同じ境遇を体験している「みかんの会」の仲間と出会い、楽しいことや好きなことを皆で共有し、笑って過ごし認知症の進行予防に努めましょう。

- **問い合わせ** また、医療福祉介護に関する専門職、認知症サポーターと連携しながら、認知症との共生を自分事として進めていきますか。
- **問い合わせ** 地域包括支援センター
☎32-11957

100歳おめでとう！おめでとうございます

- **畑中キミエさん**（柱） 本）大正11年6月生まれ
- **西にし 富美子さん**（高野口町向島） 大正11年6月生まれ
- **芝川トシエさん**（細川） 大正11年7月生まれ